

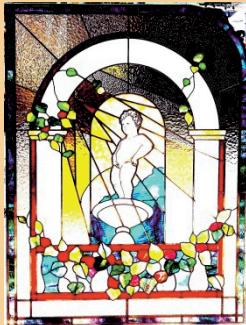
# 刈谷市駅前の京極歯科だより

0566-21-0211

ニュースレター 第16号

平成25年7月1日発行

こんにちは。院長の久田和明です。“先生！教えて！！”シリーズをお届けします。お口の健康を守るために是非参考にしてください。引き続き今回が第16号となります。



## ☆『かぶせもの』の素材の違い

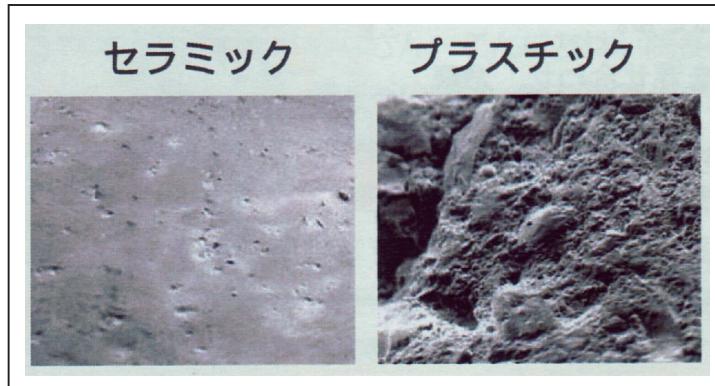
### 《5年でこんなに、、》

前歯のかぶせものの素材に種類があることはご存知ですか？今回はその中でも、セラミックとプラスチック（レジン）の違いについてご説明します。まず、下の写真をご覧ください。セラミックは変化がほとんど見られず、プラスチックは変色しています。※変色には個人差があります  
なぜ、こんなに違いが出るのでしょうか？



### 《変色しないセラミック》

答えは、その素材にあります。セラミックは、お皿などに使われている陶器のことで、これを歯科用に強化したものです。プラスチックは、皆さんご存知ですね。変色には、この素材の表面の違いが大きく関係しています。表面の拡大写真（下）を見ると、滑らかなセラミックに比べ、プラスチックはスポンジのようにデコボコしていますね。ここに汚れがたまり、変色の原因となるんです。



プラスチック…スポンジのような表面、プラークがつきやすい

セラミック…表面が滑らか、プラークがつきにくい

例えば、キャンプに行ったとき、プラスチックの食器でカレーを食べると、洗っても色が残りやすいですが、普段家で使う陶器のお皿には、色は残りませんよね。これと同じことがお口の中でも起こっているんです。

### 医院のお花



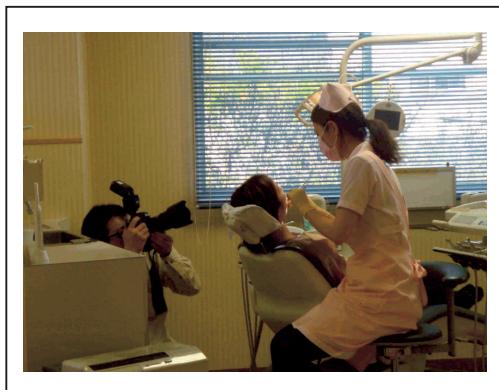
## 《さらに健康にも関係します》

この違いは、健康にも影響します。

プラスチックのデコボコには、食べ物のカスがたまり、細菌が増え、やがてプラーク（歯垢）がたまっていきます。これがお口をネバネバさせ、むし歯や歯周病を引き起こす原因になります。

一方、セラミックは、表面が滑らかなのでプラークがつきにくくなります。さらに、オールセラミックのかぶせものなら金属が一切含まれないので、アレルギーを引き起こす心配もありません。どちらも人工物なのでそれ自体がむし歯になることはありませんが、お口の中や体全体に与える影響が変わってくる、ということですね。もっと詳しく知りたいという方は、お気軽に医師やスタッフにご質問ください。

## ★ プロカメラマンによる院内撮影



4月某日約2時間を費やして、院内をプロのカメラマンが様々な写真を撮影いたしました。撮影された写真はホームページを中心に様々な配布資料として利用します。ご覧になった患者さまにとって京極歯科がより身近な存在となっていただけたら良いかと思います。

まず、ポータルサイト（一番柱となるホームページ）を大幅にリニューアルいたしました。院長はじめ、スタッフのたくさんの写真を織り込み、安心感を感じてもらうように配慮し、写真を掲載しました。

『祖父の代から、この地で約90年。30年以上も通い続けている方も少なくありません。』 がコンセプトです。

是非、ホームページをご覧ください！！

<http://www.kyogoku-dental.com>

歯の健康は、からだ全体の健康にかかわってきます。むし歯や歯周病の予防には、正しい知識と日頃のケアが大事です。

歯周病が心配でしたら、気軽にお電話ください！



久田 和明

歯学博士

歯科理工学専攻

趣味はへたなゴルフ

### 京極歯科

〒448-0844 刈谷市広小路3-33 (木・日・祝は休診です)

電話予約 ☎ 0566-21-0211

ネット予約 インターネットで [刈谷市 京極歯科](#) で検索してください。(24時間対応)

HP…<http://www.kyogoku-dental.com> <http://www.ireba-aichi.com> <http://www.kyogoku.jp/>

かかりつけ登録で  
当院情報が届きます→

Fine Doctor  
ファインドクター

